



両 中 四 季



令和7年 10月 14日 第7号

後期のスタートに当たって

(後期始業式より 抜粋)

まず、3年生。皆さんは3月3日の卒業式まで、登校日は87日です。義務教育9か年でおおよそ1800日ですから、幼い頃から一緒だった友と過ごす時間の少なさを、実感する時期ですね。皆さんはこれまで学校のリーダーとして、常に前向きに、献身的に両中を支えてきてくれました。とても素晴らしい活躍をしてくれています。学力も十分身に付いています。この力を自身の希望進路実現に生かしてください。「受験は団体戦だ!」とよく言われます。これは学級全体の真剣に学ぶ雰囲気や級友から受ける刺激が、受験を勝ち抜く大きな要素であることを意味します。「自分は一人ではない」「周りの皆も頑張っている」と互いに切磋琢磨しながら高いモチベーションを持ち続け、学級が一丸となって、それぞれの希望進路を実現させてください。



とにかく中だるみの学年といわれる2年生ですが、3年生の姿に学び、1年生に模範を示しながら、しっかり成長していることを実感しています。先日行われた新入大会の激励会では、選手のみならず、緊張感を持ちながら運営してくれた皆さんの活躍も大変立派でした。日々の授業についても、落ち着いた姿が目立つようになった、とたくさんの先生方から聞いています。とても嬉しいです。皆さんに期待することは、これまですべての中心だった3年生からしっかりバトンを受け継ぐことです。まもなく迎える生徒会選挙を基に、リーダーになる「責任と覚悟」を高め、両中学生会のよき伝統をさらに発展させてください。そのために、互いの違いや個性を認め、間違いや失敗を許容し合い、自分らしさを最大限発揮できる、笑顔あふれる2年生集団を目指してください。



1年生の後期は、中学校生活の土台をさらに確実に、しっかりしたものにしていく時期です。そんな1年の皆さんに期待することは、主体性をもって学びに向かうことです。

生成AIの発達に代表されるように、世の中は、目まぐるしく変化し続けています。先生が教えてくれることを待っているだけでは、これからの社会に対応する力が身に付きません。様々なことに関心を持ち、情報を取捨選択しながら友達と議論し、新たな考えや価値を発見・発信できる力を身に付けてほしいのです。そのよいモデルが、ふたかわ祭で行われる2・3年の探究発表です。ここまで2・3年生はたくさんの時間をかけて、自ら設定した課題を主体的に追究してきました。1年生の皆さん、ぜひ、この研究に対する姿勢、研究内容や考察、発表態度など、先輩方の姿からたくさんのことを学んでください。そして、自分の可能性を広げる土台をしっかりと築いていってください。

